

- 1 派遣期日 平成 22 年 11 月 13 日 (金)
- 2 研 修 先 学校名 成田市立吾妻小学校
所在地 成田市吾妻 2-6

3 研修内容

第 5 2 回 関東音楽教育研究会千葉大会

音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう
～一人一人の思いや意図を大切にしたい授業づくり～

(1) 第 6 学年音楽科授業の概略

○单元名 「音楽の仕組みを生かして音楽をつくろう」 指導者 野口里絵 先生

○活動の概要

音楽づくり 思いや意図を持って楽しみながらまとまりのある音楽をつくる
～「春の海」の学びを生かして～

○題材 音楽の仕組みを生かして音楽をつくろう

○本時の展開

①学習の雰囲気をつくる。(リズム遊び・歌)

②本時の目当てをつかみ、見通しをもつ。

「春の海」の B のわざを使ってレストランの音楽の B を作ろう

③「音楽の会話」を入れて即興表現をする。

・二人組で即興的に「音楽の会話」によるフレーズの対話をする。

わざ 1 「音楽の会話」

・A 部分と B 部分をつないでまとまりのある音楽にする。

わざ 2 「変化」(速度・強弱など)

④作った音楽を発表し合う。

⑤本時のまとめをする。(学習カードへ記入)

(2) 研究協議

○児童一人一人が自分の役割を果たしていて、自分の作ったフレーズを演奏していた。

○付箋をうまく使ってその場で話しあいながら音楽づくりを進めていた。

○「音楽の会話」は「問い」と「答え」をそれぞれのフレーズで交互に行うことで、それを行うことで長いフレーズが作られる。

○あるグループでは、速度や強弱の変化も付けて、レストランの雰囲気を作ることができていた。

○掲示物や学習カード、ワークシートまで丁寧な物が作られていて充実していた。

4 感想

○誰もが難しくてなかなか時間をかけて取り組むことのできない音楽づくりを行い、児童も流れをきちんと理解し、十分に活動できていたことに感心した。

○自分では、今まで思いつかなかった発想を知ることができたので、早速自分でも参考にして授業に役立てたいと思う。